



二瑞っ子

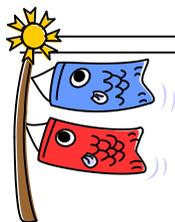
令和4年4月28日

5月号

荒川区立第二瑞光小学校

考える子 やさしい子 元気な子
じっくりと ニコニコ いきいき

二瑞っ子



素敵な高学年

校長 猪瀬 賢一

新学期がスタートして、1か月経ちました。5・6年生の子供たちが、高学年として自覚をもって学校生活を送っています。

まず、6年生が1年生の朝の支度を手伝う姿です。1年生より人数の少ない6年生ですので、複数の子の面倒を見てあげています。分かりやすいように教えてあげたり、自分でできたことを褒めてあげたりしています。雨の日は、傘の閉じ方も教えてあげていました。また、遅く登校した子を玄関まで迎えに行き、教室に連れていく姿も見られました。毎朝1年生のために早く登校してくれています。素敵な6年生です。



次に、1年生を迎える会で見せてくれた5・6年生の運営委員の姿です。1年生に喜んでもらおうと計画し、当日は司会進行をしてくれました。ニコピー役になって、会を盛り上げる姿も素敵でした。

さらに、あいさつ活動をすすんで取り組む5年生の姿です。通常は、たてわり班であいさつ活動を行っています。4月はたてわり班が編制

されるまで5年生が当番を決めてあいさつ活動を行います。今年の5年生が素敵なのは当番でない子も加わってあいさつ活動を行っているところ。このために、早く登校する子が何人もいました。大勢であいさつをしている姿を見た地域の方が「今日は何か(行事が)あるのですか」と尋ねるくらいでした。



今月は、5年生にとって初めての宿泊行事があります。集団生活をするために、時間を守ることと身の回りの整理整頓をすることは必須です。また、足並みそろえていく山登りもあります。家族旅行とは大きく違い、制約の多い宿泊生活に戸惑うことも多いでしょう。しかし、親元から離れて過ごす経験は、大きな自信につながります。また、寝食を共にし、励まし合ったり、助け合ったりして、友達との絆も深まります。素敵な5年生が宿泊行事を通して、より成長することを楽しみにしています。